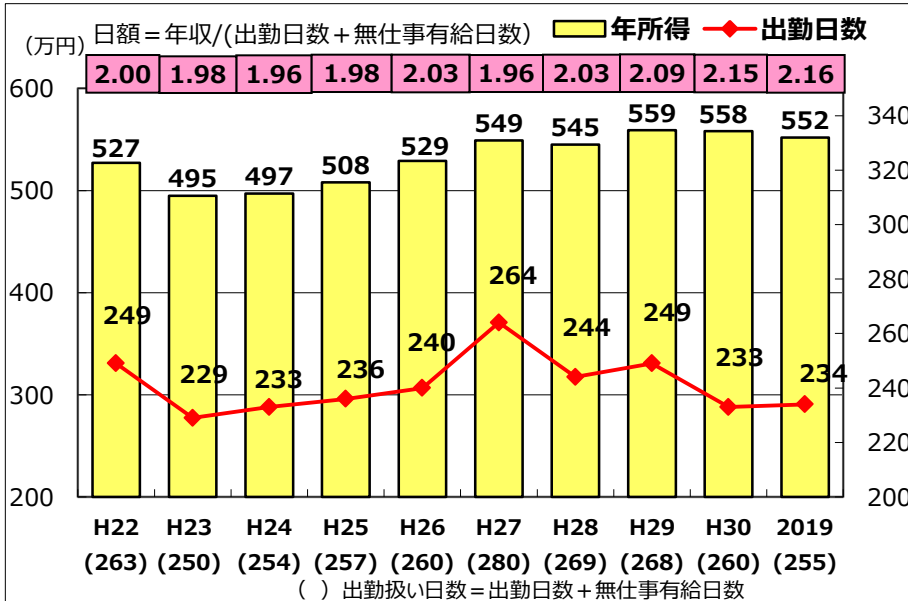


高所作業員の年収調査 (2019年)

1. 調査対象 (送研関西支部会会員の協力会社)

対象会社数	対象人員	平均年齢
15社 (14社)	269人 (240人)	H30:42.3歳
() 内前年 増1社(基礎⇒組立へ職種変更)		2019:41.4歳

2. 全体の年所得及び出勤日数の推移

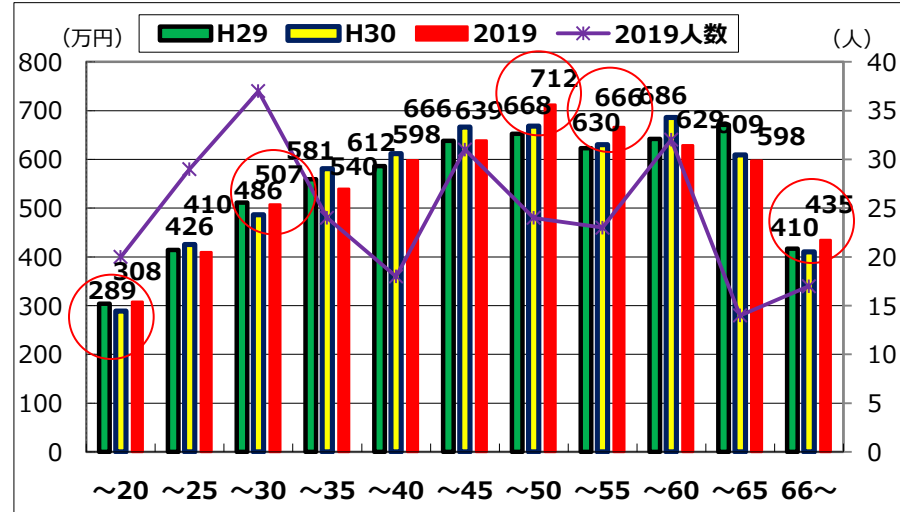


○2019年の平均年収は前年比▲6万円(H30:558⇒2019:552万)となった。(日額単価は21,500円⇒21,600円 = +100円)

- ・年収：5%超増収5社、昨年並7社、5%超減収3社
- ・平均年齢：1歳超加齢1社、1歳以下加齢7社、減齢(若返り)7社
- ・平均出勤日数：10日以上増3社、昨年並7社、10日以上減5社
- ・平均日額単価：5%超賃上げ3社、昨年並12社、5%超賃下げ：なし

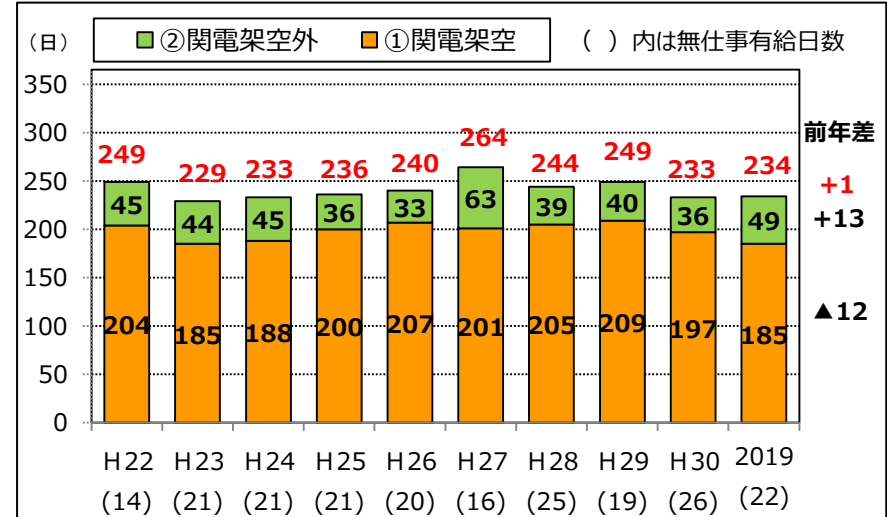
○年収には、技術継承費24万円が含まれる。技術継承費を除くと日額単価は2.07万円となる。業界としては、元請から協力会社に支払われた技術継承費が作業員に支給されるよう、しっかりとフォローしていく

3. 年齢別平均年収の分布と推移



- ・20未満,25-30,45-55,65歳超過の年代は平均6%の年収増となり、20-25,30-45,55-65歳の年代で、平均5%の年収減となった
- ・40歳超-65歳で600万以上(MAX層45-50歳:712万)の年収がある

4. 稼働日数の推移



- ・出勤日数は前年より増(+1),有給日数は減(▲4)となった
- ・関電架空での稼働比率は前年から5.4%減となった(84.5%⇒79.1%)